ふくおかライフレスキュー事業概要図

制度の狭間の諸問題や生計困難等の新たな福祉課題に対し、社会福祉法人が連携し柔軟に対応して、地域のセーフティーネットの役割を担います。

【提唱団体】
◎福岡県社会福祉法人経営者協議会
福岡県乳児院協議会
福岡県児童養護施設協議会
福岡県母子生活支援施設協議会
福岡県身体障害者福祉協議会
福岡県知的障害者福祉協会
福岡県老人福祉施設協議会
福岡県婦人保護・救護施設協議会
福岡県社会就労センター協議会
福岡県精神障害者社会復帰施設協議会
福岡県保育協議会
◎福岡県社会福祉協議会
※◎は主管団体

ふくおかライフレスキュー事業運営委員会（提唱団体で構成）

現時点県内：113 人養成

ふくおか ライフレスキュー事業 サポーター養成

養成経費

ふくおか ライフレスキュー 基　金

拠出金

管理

事務局（福岡県社協）

各地区運営助成金

助言

運営経費

法人ごと費用の請求

福岡県内

○○地区連絡会　○○地区連絡会　○○地区連絡会
○○地区連絡会　○○地区連絡会　○○地区連絡会

各法人が職員派遣

福智町社会福祉法人地域公益活動連携協議会

・ケース検討、報告

・連絡会の呼びかけ
・サポーター等の調整

事務局（福智町社協）

現物給付費用の精算

○○法人（障害者施設）　○○法人（高齢者施設）
○○法人（保育施設）　○○法人（社協）

支援決定

各施設が窓口であり、支援実施機関。各施設の管理責任者による迅速な支援の判断（決定権付与）

各法人拠出金 1 口 1 万円

サポーター等による状況把握・支援

現物給付

要援護状態のキャッチ
申込み

・必要に応じた経済的援助
（最大 10 万円の現物給付）
・一時的な住まいの確保
・食事の提供
・就労支援（中間的就労）など
※経済的援助以外は、各法人の状況に応じて支援できることが異なるため、柔軟に対応する

生計困難世帯等

活用

既存制度

生活保護、住居確保給付金
生活福祉資金貸付事業、介護保険
日常生活自立支援事業
成年後見制度、無料定額診療事業
生活困窮者自立支援事業、等